



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

			4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1150	3.0940	3.1210	3.1430	3.1460	+0.0030
	BRL/JPY	Spot	35.61	35.80	35.47	35.26	35.31	+0.05
	EUR/USD	Spot	1.0669	1.0673	1.0665	1.0645	1.0591	-0.0054
	USD/JPY	Spot	110.92	110.75	110.70	110.83	111.09	+0.26
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	10.24	10.17	10.19	10.14	10.14	+0.0022
	Future	1Year(p.a.)	9.60	9.57	9.59	9.59	9.56	-0.0378
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.955	1.938	1.945	1.907	1.967	+0.060
	USD	1Year(p.a.)	2.146	2.106	2.131	2.096	2.182	+0.086
株式	Bovespa指数		65,211.48	65,768.94	64,774.77	64,222.72	64,593.11	+370.39
CDS	CDS Brazil 5y		225.19	223.55	224.07	224.47	225.19	+0.72
商品	CRB指数		184.525	185.594	186.147	186.781	187.11	+0.324

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは2週間振りとなる3.08台前半へ上昇後、週後半は一時3.15台まで下落する展開。
- 週初のレアルは3.1300で寄り付いた。高等選挙裁判所がルセフ前大統領・テメル大統領の選挙違反容疑の審理を延期したことでレアルは買われ、高値3.0840まで上昇。週央以降は下院議員の多数が年金改革に反対しているとの報道や、政府の財政改革を巡る懸念から売りが優勢となった。週末にかけてはダドリーNY連銀総裁による米利上げ休止にかかる発言の修正を受けてドルが買われ、レアルは3.1580まで下落。結局3.1460で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.47%、2018年は2.50%でともに据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.12%から4.10%へ下方修正されたが、2018年は4.50%で据え置き。為替レートは2017年末が3.28から3.25とレアル高方向へ修正されたが、2018年末は3.40で据え置かれた。
- 高等選挙裁判所は4日、予定していたルセフ、テメル両氏の選挙違反容疑の審理を延期した。同裁判所では4月と5月に1名ずつの判事が任期切れを迎える。テメル大統領が新たな判事を指名するため、延期を受けて同氏が大統領にとどまる可能性が高まった。
- 5日、政府の年金改革案に対する下院議員へのアンケート調査結果について賛成95人に対して反対が251人と報じられた。翌日にテメル大統領は年金改革案について新たな最低受給年齢である65歳が維持されれば内容の変更を許可すると発言。またパージーリヤ官房長官が財政改革の変更により今後10年間で678億レアルのマイナス影響を見積もっていると報じられたことで財政への懸念が高まった。
- 米国は6日夜、シリアの空軍基地にミサイル攻撃を実施。ロシアルーブルなど地政学リスクが意識される通貨が軟調推移したが、レアル相場に目立った反応は見られなかった。
- 7日に発表された米雇用統計は非農業部門雇用者数が予想を大きく下回った。直後はドルが主要通貨に対して売られたが、天候要因による雇用増の鈍化が指摘されたことで水準を戻した。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## 3月FOMC議事録で年内の資産縮小開始に言及

FRBは今週、3月14、15日開催分のFOMC議事録を公表。大部分の当局者がFRBのバランスシート縮小開始につながる政策変更を年内に実施することを支持したことが示された。先週ダドリーNY連銀総裁がバランスシート正常化の過程で利上げを小休止することに言及していたためドル金利は低下したが、同総裁はこの発言内容について「短い休止」であることを改めて説明。低下傾向だったドル金利は週末にかけて上昇し、ドルは主要通貨に対して買い戻された。



## 4. 来週の為替市場注目点

## 予想ドル・リアル相場レンジ：3.05－3.15

来週のリアルは引き続き伯政府の財政を巡る懸念から軟調な動きを予想する。11、12日にはCOPOMが開催予定。伯中銀は今週、先週発表したインフレレポートの内容について作業エラーを理由にインフレ見通しを一部下方修正したが、金利先物市場は引き続き約▲1.04%の利下げを織り込み済み。インフレ低下を受けて前回3月会合における▲0.75%から利下げ幅が拡大すると見込んでおり、予想と一致するか注目したい。

## 5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.25%	0.25%	0.33%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	4.57%	4.57%	4.76%
米	非農業部門雇用者数変化	180k	98k	235k
米	失業率	4.7%	4.5%	4.7%
米	平均時給(前月比)	0.2%	0.2%	0.2%
米	労働参加率	--	63.0%	63.0%
米	卸売売上高(前月比)	--	0.6%	-0.1%
米	消費者信用残高	\$15.000b	\$15.206b	\$8.794b

## 6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	4/10	FGV CPI IPC-S	Apr 7	0.49%	0.47%
ブラジル	4/10	IGP-M Inflation 1st Preview	Apr	-0.42%	0.25%
ブラジル	4/10	貿易収支(週次)	Apr 9	--	\$1692m
ブラジル	4/11	FIPE CPI-週次	Apr 7	0.20%	0.06%
ブラジル	4/12	小売売上高(前月比)	Feb	0.3%	-0.7%
ブラジル	4/12	SELICレート	Apr 12	11.25%	12.25%
米	4/12	輸入物価指数(前月比)	Mar	-0.20%	0.20%
ブラジル	4/13	IBGEサービス部門売上高 前年比	Feb	-6.50%	-7.30%
米	4/13	PPI 最終需要(前月比)	Mar	0.0%	0.3%
米	4/13	新規失業保険申請件数	Apr 8	245k	234k
米	4/13	シカゴ大学消費者マインド	Apr	96.5	96.9
ブラジル	4/14	経済活動(前月比)	Feb	0.25%	-0.26%
米	4/14	消費者物価指数(前月比)	Mar	0.0%	0.1%
米	4/14	小売売上高速報(前月比)	Mar	-0.1%	0.1%
米	4/14	企業在庫	Feb	0.3%	0.3%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。